

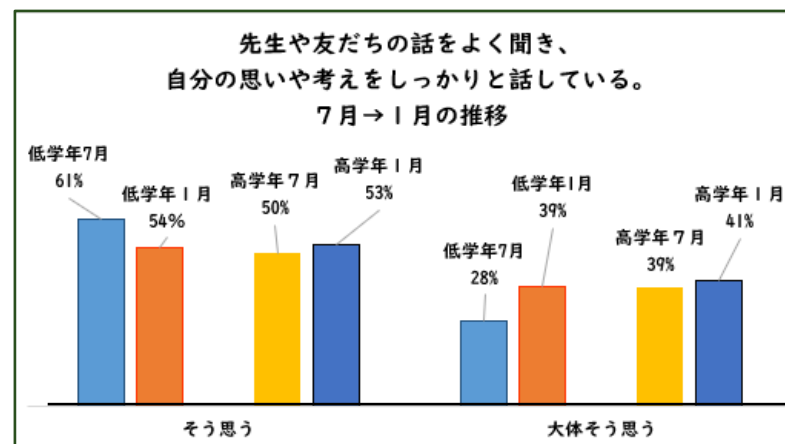


## 学校だより 第2回学校評価特別号

平素は、本校教育にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、冬季休業後、学校評価アンケートのご回答にご協力いただきありがとうございました。今回、学校評価特別号にて、アンケート結果と分析についてお知らせいたします。今回の学校評価の結果からも学校教育の在り方を追求し、今後につなげていきたいと考えております。

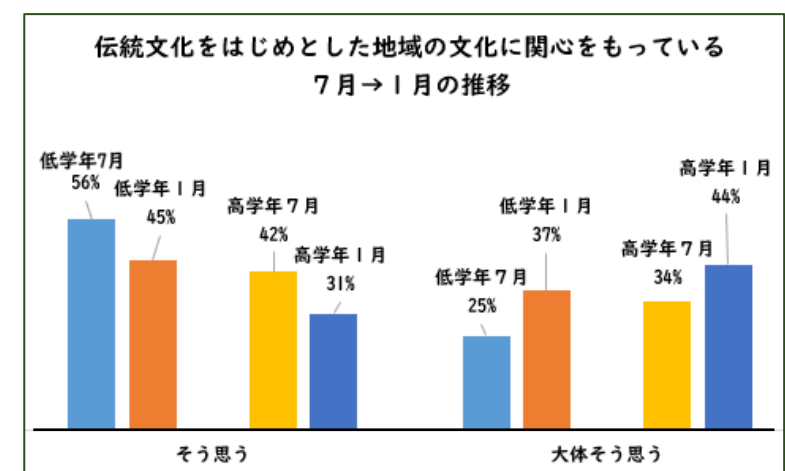
## 子どもの成長度合いを評価したり価値づけしたりする大切さ



「先生や友だちの話をよく聞き、自分の思いや考えをしっかりと話している。」(1月調査)では、低学年の93%、高学年の 94%が肯定的な回答です。

9月調査に引き続き、高い数値と言えます。高学年においては、7月調査時よりも肯定的な回答が上昇していることもわかります。しかし、低学年においては、「そう思う」の回答が下がっています。人数で言うと30人程の子どもたちです。

このデータからは、はっきりした分析ができませんが、学校では、授業や学級活動の中で、「先生や友だちの話をよく聞く」「自分の思いや考えをしっかりと話している」場面について、個々にどれくらいできているかということの評価したり、ほめ言葉のシャワーで価値づけしたりすることが大切だと考えています。できたことをほめることで自己肯定感や主体性を育むことはもちろんですが、何がどこまでできているのか、以前より何が成長したのか、伝え続けることで、個々に日々の目標がわかってくるのではないかと思います。ご家庭では、「話を聞くことや自分の思いや考えをしっかりと話している」場面以外にも、子どもの成長を見取る多くの場面があるかと思います。ぜひぜひ、価値づけに+αの評価で、子どもたちに成長している場面を伝えていただければと思います。



「伝統文化をはじめとした地域の文化に関心をもっている。」(7月→1月調査の推移)からは、「そう思う」の回答が下がったことがわかります。

7月の時点と比べると、総合的な学習の時間や生活科などで伝統文化や地域の学習に多く取り組んできたので、以外な結果となりました。伝統文化については、茶道・華道・お箏・能・剣鉾など、こんなに多くのほんものに触れる機会があるにも関わらず、関心があるかどうかということに、単純に

は結びついていないのではないかと考えます。私たち教職員がカリキュラムの中で、この地域で暮らす子どもたちに、伝統文化を学ぶことについて、価値づけしたり、また学んだことに対して評価するなど、今以上に、目的をもって育んでいきたいと考えます。

## 課題は変わらず「あいさつ」について・・・

「いつでもどこでも、進んで気持ちのよいあいさつができてい、している」については、子どもたちの自己評価は高いものの、身近におられる保護者の方からの「そう思う」の評価は30%です。実際はどうでしょうか。あいさつ運動では、声を出せるのですが、自発的にあいさつの言葉を出す子どもが限られているのが現状です。

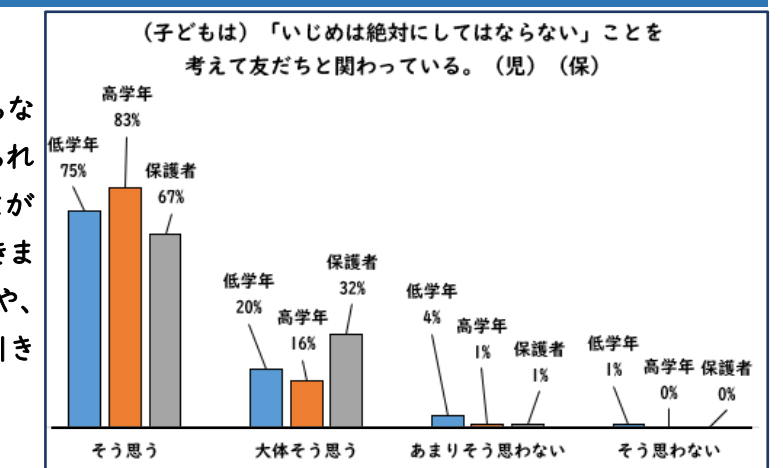
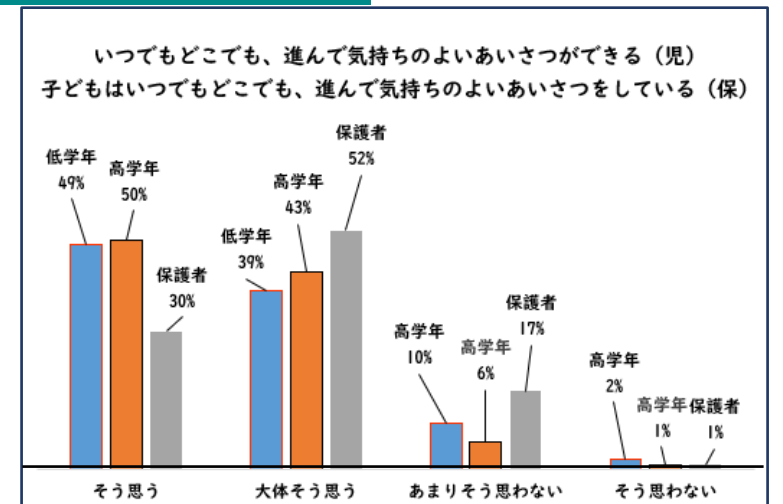
いつも、にこにこかわいい西陣中央っ子ですが、職員室に先生を訪ねてくるときに、用件を伝えたい相手(先生)が見えていても、「〇〇先生はおられますか」と言うことが多く「〇〇先生お願いします。」など、臨機応変なやりとり

が難しいようです。また、自分の体調のことやけがのことを、ついてきてくれた友だちに全て話してもらう子も少なくありません。今年度「自ら動くこと、自ら発すること」を学校の教育目標に掲げていますが、あいさつと自ら何かをする力につながりきっていないように思います。

私たち大人が見本となり行動することはもちろんですが、ここで頭一つ抜け出す力を子どもたちに付けたいです。

## いじめについて・・・

ほとんどの子どもたちが、「いじめは絶対にしてはならない」と考えていることや、家庭でもそのように見取っておられることに安心しました。この風土をしっかりとっておくことが大切です。子どもは失敗を経験しながら成長をしていきます。失敗したときに、正しい考えの仲間が周りにいることや、助言したり許したりしてくれることが、とても大切です。引き続き、優しい西陣中央っ子を大切にしていきたいです。



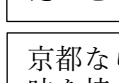
## 今年度、どのような場面で、子どもたちの成長を感じられたか教えてください。

自分の気持ちを友達に伝えたり友達の気持ちを考えたり自分で考えて決めて行動することが増えました。何でも1人でやりたい気持ちができたり、いろいろなことに対して関心を持つようになったと感じます。(1年)



1年生の時よりも、自分というものが出来たような気がします。行動範囲も広くなり、1人で行動できることが多くなった事で成長を感じました。(2年)

授業で発言するようになったこと・学校の準備が一人でできるようになったこと・字(書道含め)がきれいになったこと・国語ノートに自分の意見をしっかりと書き込んでいたこと・リコーダーを自宅で熱心に自主練習していること・同じマンションの人に挨拶したこと(3年)



京都ならではの文化、伝統に興味を持ったり、自分でも体験してみたり、意欲的に取り組むことが多くなった。(4年)



6年になり、みんなで考え生徒主体で作り上げたんだろうなあと感じる機会が多かった。自分が諦めたくないことに関して努力を惜しまない姿勢を見ることができた。(6年)

運動会の時のダンスでは、たくさん練習したのもあるけれど、他のお友達や、先生方にたくさん助けられ、頑張っていたのを見て、感動しました。地域の小学校に行って良かったとおもいました。(にじ)



町内の低学年のお世話をする様子を見たり、学校で低学年と関わっている話を聞いたりして、成長を感じました。(5年)



たくさんの方の保護者の方に回答していただきました。

一部になりますが皆様にご紹介させていただきます。ご意見いただきまして、ありがとうございました。(※表現を一部修正しております)

令和5年度 第2回学校評価アンケート 児童		【低学年 1～3年生】				【高学年 4～6年生】			
		そう思う	大体 そう思う	あまり そう思わ ない	そう思わない	そう思う	大体 そう思う	あまり そう思わ ない	そう思わない
確 かな 学 力	授業は楽しく分かりやすい。	60%	33%	6%	1%	62%	33%	5%	0%
	目標をもって、じっくり取り組んでいる。	52%	38%	7%	3%	53%	38%	8%	1%
	先生や友だちの話をよく聞き、自分の思いや考えをしっかりと話している。	52%	39%	6%	3%	53%	41%	5%	1%
	自ら進んで家庭学習に取り組んでいる。	58%	30%	10%	2%	50%	36%	12%	2%
	学校図書館で本を借りるなど、進んで読書に取り組んでいる。	64%	27%	7%	2%	40%	34%	18%	8%
豊 かな 心	学校は楽しい。	73%	18%	6%	3%	68%	22%	7%	3%
	自分のことも周りの人のことも大切にしている。	69%	26%	3%	2%	74%	24%	1%	1%
	いつでもどこでも、進んで気持ちのよいあいさつができる。	49%	39%	10%	2%	50%	43%	6%	1%
	伝統文化をはじめとした地域の文化に関心を もっている。	46%	37%	10%	7%	31%	44%	20%	5%
	学校や社会のルールを守って生活している。	61%	34%	4%	1%	68%	29%	2%	1%
健 や かな 体	基本的な生活習慣（早ね、早おき、歯みがき、身の回りのせいけつなど）が身についている。	54%	35%	9%	2%	47%	39%	11%	3%
	外に出て遊び、よく体を動かしている。	63%	24%	10%	3%	48%	29%	15%	8%
	安全に気をつけながら生活している。	73%	22%	4%	1%	74%	23%	2%	1%
い じ め 防 止	自分のことを大切にしている。	78%	17%	4%	1%	68%	25%	5%	2%
	友だちを大切にしている。	78%	16%	5%	1%	85%	13%	2%	0%
	「いじめは絶対にしてはならない」ことを考えて友だちと関わっている。	75%	20%	4%	1%	83%	16%	1%	0%

## 学校運営協議会の方から

学校運営協議会理事会では、子どもたちのことを多方面から話しあい、ご意見をいただきました。

- 【読書】図書館イベントの子どもたちの利用はとても多いが、日ごろの利用は減っている。また、以前に比べて1階絵本の広場の利用が少ない。→（学校や家庭での）読書量はどうか。
- 【確かな学力】「放課後まなび教室」では漢字検定と算数検定を実施した。→目標に向かって自ら学習する力は素晴らしい。
- 【学校行事について】学校が進める「にじプロ」という学校行事について、アンケートの記述などからは保護者の理解が進んでいることはよかった。→保護者記述欄より
- 【豊かな心】（あいさつ）自分のことを表現することがこの数年豊かになってきている。しかし、あいさつは難しい。知り合いになると、よくやってくれる。地域に知り合いが増えたとあいさつも増えていくのではないか。
- 大人が構いすぎて成長を阻害しているのも要因ではないか。子ども自身があいさつはなぜしないといけないのか考えることが大切である。
- （地域のこと）今年の能登半島地震の規模の地震が京都市で起これば、本校の校区ではかなり多くの倒壊になると考えられる。以前、ボランティアについて話したことがあったが、子どもたちにも多くのことを考えながら過ごして欲しい。

令和5年度 第2回学校評価アンケート 保護者		【保護者】			
		そう思う	大体 そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
確 かな 学 力	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	31%	61%	8%	0%
	子どもは、目標をもって、じっくり学習に取り組んでいる。	28%	56%	15%	1%
	子どもは、先生や友だちの話をよく聞き、自分の思いや考えをしっかりと話している。	32%	55%	12%	1%
	子どもは、自ら進んで家庭学習に取り組んでいる。	36%	40%	22%	2%
	子どもは、学校図書館で本を借りるなど進んで、読書に取り組んでいる。	38%	38%	22%	2%
豊 かな 心	子どもは、楽しく学校に通っている。	62%	35%	3%	0%
	自分のことも周りの人のことも大切にしようとする心が育っている。	57%	41%	2%	0%
	子どもは、いつでもどこで、進んで気持ちのよいあいさつをしている。	30%	52%	17%	1%
	伝統文化をはじめとした地域の文化に関心を もっている。	29%	52%	18%	1%
健 や かな 体	子どもは、学校や社会のルールを守って生活している。	60%	39%	1%	0%
	子どもは、基本的な生活習慣（早寝、早起き、歯磨き、身の回りの清潔など）が身についている。	37%	55%	7%	1%
	子どもは、外に出て遊び、よく体を動かしている。	32%	36%	27%	5%
い じ め 防 止	子どもは、安全に気をつけながら生活している。	54%	43%	3%	0%
	子どもは、自分自身のことを大切にしている。	62%	36%	2%	0%
	子どもは、友だちを大切にしている。	69%	30%	1%	0%
家 庭・学 校・地 域の 連 携	子どもは、「いじめは絶対に許されないことである」ことを意識して友だちと関わっている。	67%	32%	1%	0%
	学校は、ホームページ・学校だよりを通して、学校の様子をわかりやすく伝えている。	48%	49%	3%	0%
	学校は、学習や学校生活で困りがあったとき、誠意ある対応をしている。	52%	45%	3%	0%
保 護 者 ご 自 身	学校は、地域やPTAと共に、子どもたちの安全を守ろうとしている。	59%	39%	1%	1%
	子どもが自ら学ぼうとする気持ちを高める工夫をしている。	25%	60%	14%	1%
	子どもの間違った言動や行動に対して、毅然とした態度で接している。	47%	51%	2%	0%
	生活習慣を整えるために、子どもとルールや約束事などを決めて生活している。	39%	57%	4%	0%
	自分の命を大切にすること、他者の命を大切にすることについて、子どもと共に考える時間を大事にしている。	51%	44%	5%	0%
	ホームページ・学校だより・学習予定表など学校からの発信について目を通し、学校生活について子どもと共有する時間を大切にしている。	39%	53%	7%	1%
保 護 者 ご 自 身	地域のお祭りや伝統文化に関心をもち、地域行事に進んで参加している。	30%	51%	17%	2%

- 【健やかな体】（外での遊び）校区のいくつかの公園を見て回っていると、「外に出て遊び、よく体を動かしている。」の数値がもっと高くてもよいのではないかと思う。多くの子どもたちが目いっぱい遊んでいる。その一方で習い事などが多く入り、自分で考えて過ごす自由な時間が少ない子どもたちもいるのではないか。
- 子どもたちは、運動と健康が大事だと思っている。しかし、運動と健康のためにすること＝外遊びだとは思っていないのではないか。
- （安全）見守り隊の引退の数と新規の数が合わず減っており、地域で子どもたちの登校の安全を守る今の取組が心配である。
- 【地域の祭りに関すること】「地域のお祭りや伝統文化に関心をもち、地域行事に進んで参加している。（保）」の「あまりそう思わない・そう思わない」が19%である。小学生にお手伝いしてもらえるような地域行事が少ないのもあるかと思う。